

「行革＝行政改革」

とは、行政をコンパクトにし、より少ない税金投入でより大きな効果をあげる取り組みを推進するなど、市民の生活をしっかりと守りながら、市の活力を高めていくことです。私たちが安心して暮らせる御前崎市を目指すために大切な取り組みなのです。

少子化・人口減少社会
税収の
大幅な減少

高齢化社会
医療費など社会保障費が
大幅に増加

行政改革

肥大化した組織

多くの公共資産

非効率な
行政サービス



雇用の
安定

安心・安全の
まちづくり

保健福祉
の充実

人口の
増加

安心の
子育て



昨年度取り組んだ48項目の行動計画の取り組み状況を、本年8月に行革委員へ報告しました。各取り組みに対する検証が行われ、進捗や取り組みに対し、市民目線によるご意見をいただきました。

行革委員からの意見を反映するとともに、さらなる行政改革を推進し、今まで以上に効率的な行政経営を行います。

今後の取り組み方針

◇補助金などの整理合理化

- ・補助の終期設定
各種団体の運営を対象とする補助金については、既存団体、新規団体ともに補助の目的の達成のために必要な期間を設定し、補助の効果の検証を行っていきます。
- ・評価・審査するしくみの見直し
補助金の交付基準を明確にし、中立的立場から定期的に評価や、審査する体制づくりに取り組んでいきます。

◇利用者負担の適正化

- ・使用料・手数料の見直し
使用料・手数料基本指針を策定し、公平性の確保と利用者負担の原則に基づき、公共施設の使用料や証明書などの

今後市民の皆さんに身近な

行政改革を推進していきます。

手数料の見直しを行います。

◇歳入の確保

- ・公有財産の処分
売却可能な財産(土地など)を売り払い、財源の確保につなげていきます。
- ・広告収入の確保
市ホームページのバナー広告や印刷物、物品などへの広告掲載することにより、収入確保に努めます。

◇行財政運営の効率化

- ・財務書類の活用
企業の会計方式による財務書類を作成し、保有資産の状況や将来にわたる負債の状況を把握し、健全な行財政運営を目指します。

未来を担う世代のために

現代で生活している我々の世代ばかりでなく、10年後、20年後の未来を担う世代のためには、子どもから高齢者までだれもがいっきいきと暮らしていただけるような取り組みをしていくことが必要です。そのためには、中長期にわたり健全な財政を維持するなど、行政改革を継続的に推進し、簡素で効率的な行政運営を行う必要があるのではないのでしょうか。